

科目名称	成人看護学Ⅳ（慢性期看護）	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 後期	1	30
担当教員	小路 陽子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

慢性疾患を持つ対象は、生涯にわたって治療を継続し、社会生活の中で健康管理をしながら疾患とつきあっていかなければならない。慢性疾患の特徴、症状マネジメントの仕方を学ぶことで、慢性疾患をもつ人々の多様な価値観や生き方を理解し、対象が自分自身で症状マネジメントできるよう、専門職として援助する方法を学ぶ。

【2】学習目標

1. 慢性期における対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、説明できる。
2. 慢性期における対象の症状マネジメントを理解できる。
3. 慢性期における対象のセルフケアを支える援助を計画できる。
4. 慢性期における対象のセルフケアのための行動変容への援助を理解し、説明することができる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☒ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☒ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	慢性疾患を持つ対象の理解と慢性期看護の特徴①	講義
2	慢性疾患を持つ対象の理解と慢性期看護の特徴②	講義
3	慢性疾患を持つ対象の事例展開 病みの軌跡理論で考える	演習
4	慢性期にある患者の理解① がん治療をしながら生活している患者の看護	講義
5	慢性期にある患者の理解② 化学療法を受ける患者の看護	講義
6	慢性期にある患者の理解③ 放射線療法を受ける患者の看護	講義
7	慢性の運動機能障害（関節リウマチ）のある対象の看護①	講義
8	慢性の運動機能障害（関節リウマチ）のある対象の看護②	演習（グループワーク）
9	慢性の呼吸機能障害（慢性閉塞性肺疾患）のある対象の看護①	講義
10	慢性の呼吸機能障害（慢性閉塞性肺疾患）のある対象の看護②	演習（グループワーク）
11	慢性の内部環境調節障害（慢性腎不全）のある対象の看護①	講義
12	慢性の内部環境調節障害（慢性腎不全）のある対象の看護②	演習（グループワーク）
13	慢性の代謝機能障害（糖尿病）のある対象の看護①	講義
14	慢性の代謝機能障害（糖尿病）のある対象の看護②	演習（グループワーク）
15	試験とまとめ	

【5】評価方法

筆記試験（80％）、演習・課題（20％）で総合的に評価する

【6】教科書

鈴木志津枝：成人看護学 慢性期看護論（第3版）ヌーヴェルヒロカワ 2020

【7】参考書

岩田健太郎：系統看護学講座 専門分野 成人看護学 11 アレルギー・膠原病・感染症（第15版） 医学書院 2022（電子版）
 川村雅文：系統看護学講座 専門分野 成人看護学 2 呼吸器（第15版） 医学書院 2022（電子版）
 大東貴志：系統看護学講座 専門分野 成人看護学 8 腎・泌尿器（第15版） 医学書院 2022（電子版）
 吉岡成人：系統看護学講座 専門分野 成人看護学 6 内分泌・代謝（第15版） 医学書院 2022（電子版）
 高木永子：看護過程に沿った対象看護 病態生理と看護のポイント（第4版）学研

【8】受講生へのメッセージ

この科目では、慢性期とはどんな時期なのか、慢性疾患をもつ患者さんにはどのような看護が必要なのかを学びます。学びを成人看護学実習で活かせるよう、一緒に学習しましょう。